

白バラよこはま

No.52

令和4年11月発行



横浜市明るい選挙推進協議会

横浜市中区本町 6-50-10

TEL 045-671-3337

FAX 045-681-6479

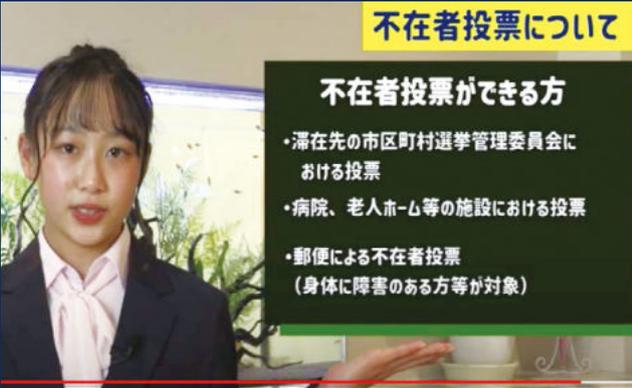
【西区】みなとみらい21さくらフェスタ



【泉区】泉区明推協による製作物



【栄区】栄区啓発動画



【南区】作製した啓発物品



【青葉区】ザ・イコット街頭啓発



【都筑区】啓発物品(メガネクリーナー・ティッシュ)



【保土ヶ谷区】高校生の演奏(バンドバトル)



【瀬谷区】せんきよフォーラム開票の様子



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意思が正しく政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 期日前投票所や当日投票所の投票立会人等への従事
- 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス

これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



目次

推進委員・推進員の心得	2
各区令和3年度の事業、令和4年参院選の実績	3～20
横浜市令和3年度の事業	21
横浜市・区明るい選挙推進大会（令和3年度 代替措置） ／イコットプロジェクトの紹介	22
第19回投票参加状況調査結果	23
参議院選挙の啓発事業実績	24
参議院選挙の区別投票率	25
寄付禁止（三ない運動）	26
各選挙における投票率の推移	27

鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現を目指し、各種啓発事業を実施しています。また、若年層に向けた、選挙・政治に対する意識向上が求められていることから、若い世代に向けた選挙啓発にも力を入れています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止となった啓発活動もありましたが、「今できること」を考えて、小中学生に向けた「標語コンクール」の実施、選挙啓発物品の配付等を行いました。

選挙啓発事業では、参議院選挙に向けたタウンニュースへの掲載や LICOPA 鶴見店での街頭啓発活動、区内自治会館での啓発物品の配架を行いました。

今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行ってまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 6月	推進委員総会 (書面開催)	令和2年度の事業・決算報告及び、 令和3年度の事業計画を審議。	
11月～ 令和4年 2月	鶴見区明るい選挙標語コンクール	小中学生を対象に冬休み期間を利用して選挙に関する標語のコンクールを実施し、参加賞として名刺カード・マスクを配付。 最優秀賞 「さあ一票 あなたが変える 鶴見の町」	応募総数： 418点
令和4年 1月	タウンニュース	広報物を活用し、小中学生の冬休み期間に選挙に関する標語コンクールの応募要項を掲載。	
通年	啓発用グッズ・チラシの作成	標語コンクール参加促進のため、区内市立小中学校生徒に対し、啓発物品を作成・配付。	
	イコット NEWS 発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙関連情報を中心に掲載、発行。	発行回数： 3回
	投票器材の貸出	区内の中学校・高校、自治会に投票器材を貸し出し、将来の有権者への動機づけを図った。	貸出数 学校：延べ 9校 自治会：1 自治会

▼ 区内自治会館での啓発物品の配架



▲ LICOPA 鶴見店での啓発物品の配架



▲ 標語コンクール参加賞のマスク

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
タウンニュースへの掲載	広報物を活用し、投票所等における新型コロナウイルス感染症への対応等を周知するとともに、投票率の向上を図った。	
街頭啓発	投票率の向上を図るため、LICOPA 鶴見店で啓発物品を配布。	参加人数： 6人
自治会館への啓発物品の配架	投票率の向上を図るため、区内の自治会館に啓発物品を配架。	自治会館数： 4

神奈川県

神奈川県明るい選挙推進協議会は、神奈川県選挙管理委員会と連携・協力し、明るい選挙の推進、投票率の向上に向けて、様々な啓発活動を行いました。

若年層への啓発では、区内小学校、高等学校にて出前授業（せんきょフォーラム）を行いました。参加した児童・生徒からは大変好評で、選挙を身近に考える良いきっかけとなったようです。

また、投票率や啓発活動の報告を取り上げたイコット通信を2回発行したほか、LEDキーホルダー等の啓発グッズを作製しました。

今後も、より充実した啓発活動を実施してまいります。



▲ せんきょフォーラム



▲ 浅野学園高等学校での講義



▲ 啓発物品（LED キーホルダー、巾着袋）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年11月	神奈川県立城郷高等学校での出前授業	神奈川県選挙管理委員会と合同で「若年層有権者の低投票率と影響」をテーマに講義し、模擬投票を実施。	参加人数：約320人
令和4年1月	私立浅野学園高等学校での出前授業	「政治活動と選挙運動」をテーマに講義を実施。	参加人数：約270人
年2回（令和3年12月、令和4年3月）	イコット通信の発行	投票率や啓発活動の報告を取り上げたお知らせを発行。	
通年	区内小学校でのせんきょフォーラム	区内小学校の児童を対象に、選挙の仕組みを説明し、学校生活に関するテーマで模擬投票を実施。	実施小学校：11校 参加人数：872人
	乳幼児健診にて啓発物品を配布	乳幼児の保護者に向けて選挙啓発に関するデザインのウェットティッシュを配布。	配布数：約3,500個
	選挙器材の貸出し	区内中学校・高等学校を対象に、投票箱、記載台等の器材貸出しを実施。	対象校数：中学校6校 高等学校2校
	啓発物品の作製	啓発物品（LEDキーホルダー、巾着）を作製。	作製数：LEDキーホルダー400個 巾着400個

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発懸垂幕の設置	神奈川県役所に選挙啓発の懸垂幕を設置。	
広報よこはま6月号への掲載	広報よこはま6月号に、選挙についての特集記事を掲載。	
庁内モニターにて放映	神奈川県役所内の庁内モニターに、選挙情報を放映。	
区内施設に啓発用ポケットティッシュを配架	神奈川大学、神奈川スポーツセンター、神奈川図書館、区内地区センターに啓発用ポケットティッシュを配架。	約1,000個

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と投票率向上のため各種啓発事業を実施しています。

令和3年度も多くのイベントが中止または縮小されましたが、感染症対策に留意しながら啓発事業を実施しました。

12月には、ハマのウォーキングフェスティバル（地域振興課主催）がありました。例年、選挙啓発物品を配布しており、皆様に選挙について関心を持っていただく機会となっています。今回は、啓発キャッチフレーズ入りマップホルダーを配布しました。

3月には、みなとみらい21さくらフェスタ2022にイコットJr.が参加し、多くの来場者に、選挙への意識を高めていただけるようPRしました。

今後も、推進委員・推進員の皆様と連携し、効果的な啓発活動に取り組めます。



▲ 街頭啓発



▲ 啓発物品（エコバッグ）

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 5月	定例会	推進員委嘱、令和2年度事業実績及び決算報告、令和3年度予算審議。	書面開催
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	参加者が使用するコースマップホルダーに啓発キャッチフレーズを記載。	参加人数： 約700名
令和4年 3月	みなとみらい21さくらフェスタ2022	イコットJr.がステージパフォーマンス及びパレードに参加。	来場者数： 約4,500名
通年	学校での生徒会選挙等の実践啓発	記載台や投票箱等の貸出し。	貸出し実績： 4校
	明推協だより	推進委員・推進員向け機関紙の発行。	
	啓発物品の作製・配布	啓発物品（エコバッグ、缶バッジ、ボールペン）を作製。	



▲ ウォーキングフェスティバル マップホルダー

● 参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発「ザ・イコット」	高島町駅、戸部駅、西横浜駅にて街頭啓発を実施。マイクで投票参加を呼びかけながら、通行人に啓発物品（ポケットティッシュ）を配布。	配布数： 2,000個
	各自治会・町内会のイベント等における啓発物品（ポケットティッシュ）配布を依頼。	配布数： 4,000個

中 区

中区明るい選挙推進協議会では、令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、様々な啓発活動を行いました。

毎年参加していたイベントへの出展などが2年連続で中止となる中、作文コンクールやせんきょフォーラムなどで若年層への啓発を実施しました。

小学校で行ったせんきょフォーラムでは、実際に給食で提供されるメニューを選ぶ選挙を行い、偶然にも2候補が同得票数となったため、くじ引きが行われました。児童の関心がより高まり、選挙制度への理解が深まりました。

今後も新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、推進委員・推進員の皆様と協力してより実のある選挙啓発を行ってまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年6月	せんきょフォーラム	区内の小中学校で「給食選挙」を実施。 (6月24日 本町小学校)	参加人数: 87人
令和4年3月	啓発物品の配布	卒業、進学、就職などを控え、未来を意識する時期に選挙について考えるきっかけとなるよう「投票ヘイコット」中区オリジナルトイレットペーパーを制作し、中区内の小中学校や商業施設等に配布。	制作数: 1,000個
通年	選挙器材の貸出し	区内の小中学校で、模擬選挙や生徒会選挙などの用途で貸出し。	貸出し数 小中学校 4校 イベント 等6件 計10件
通年	中区明るい選挙推進作文コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施。	応募件数 1061作品 入賞者18名
通年	明推協通信「イコットニュース」の発行	推進員等への情報提供と、選挙啓発意識の向上を目的とした機関誌の発行。	発行回数: 年3回 (7月、11月、3月)

▼せんきょフォーラムでの開票の様子



▲せんきょフォーラムでの投票の様子

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き街頭啓発活動は中止。 啓発用のポケットティッシュを推進員が町内会館等で配布。	配布数: 300個



▲町内会でのポケットティッシュ配布

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

令和3年度は、予定していた行事が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる中、新有権者となる高校3年生向けに作製した区独自パンフレットの配布、推進員の市会見学会、小学6年生を対象とした「せんきょフォーラム」等を実施し、当協議会の周知や投票参加を呼びかけました。パンフレットについては参議院選挙前に再配布希望の声をいただくなど、好評をいただいています。

その他にも、年間を通じて、中学校・高等学校の生徒会選挙の際に、選挙器材の貸出しを行いました。



▲ せんきょフォーラムの様子



▲ 街頭啓発の様子



▲ 推進員研修会の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 12月	せんきょフォーラム	区内の2校で、選挙の講義と、投票から開票までを体験し、給食メニューを決定する模擬投票を実施。 (別所小学校、日枝小学校) ほか4校で選挙器材および教材を貸出し。 (南小学校、六つ川西小学校、横浜国大附属特別支援学校、藤の木小学校)	参加人数： 182名
令和4年 1月	推進員研修会	選挙や政治に関連する機関への見学会として、横浜市市庁舎低層部（1～3階）と横浜市会を見学。	参加人数： 10名
2月	区内高校への啓発活動	低投票率の続く若年層向け啓発の一環として、「新有権者のためのまるわかり投票ガイド」と題した啓発パンフレットを作製、「まねっきー」のイラスト付きペンと合わせて、横浜商業高校にご協力をいただき、高校三年生に配布。	配布対象： 300名
3月	桜まつり	南区春の風物的行事「桜まつり」の会場である大岡川沿いの桜並木に、選挙啓発標語入りの「ぼんぼり」を掲出。	
通年	明推協だより発行	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行し、ホームページにも掲載。	
	啓発物品作製	啓発物品として、「まねっきー」のぬいぐるみ、「まねっきー」のイラスト付きペンを作製。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	選挙器材貸出し	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等への選挙器材貸出しを実施。	

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	啓発用ポケットティッシュを配りながら、投票参加の呼びかけを実施。 実施日：令和4年7月6日 場所：福祉保健課主催イベント会場（南公会堂）	参加人数： 推進員2名

港 南 区

港南区では近年、主に若年層を対象とした啓発活動に力を入れて取り組んでいます。令和3年度は昨年度同様、感染症対策に留意しつつ、非接触型での様々な啓発活動を行いました。

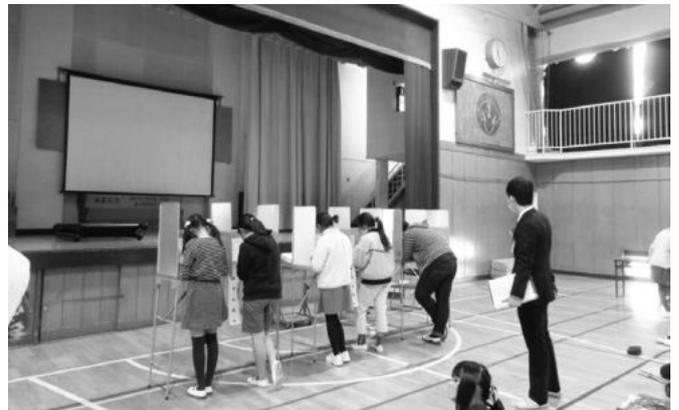
啓発物品として、マスクケースを作製し、図書館へ配架したところ大変好評でした。

また、「若者会議」では、「投票率の向上に向けて何ができるか」をテーマに各校で話し合いの場を設けてもらいました。話し合いを踏まえたアンケート結果は、電子投票やSNSの活用等、デジタルに触れる若年層ならではの意見が多く見られました。今後も引き続き、推進委員・推進員の皆様の協力のもと、選挙への関心が高まるような啓発活動を実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年5月	明るい選挙推進協議会委員会	令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画等の審議。	22人
12月	せんきょフォーラム(模擬選挙)	区内の小学校で児童や生徒を対象に、主に給食のデザートなどを決める模擬選挙を実施。	290人
11月～令和4年2月	若者会議	区内の高校にて、現役高校生が選挙啓発等について議論する会議を開催。	
令和4年1月	明るい選挙推進大会・研修会	令和3年度は感染症対策に留意し、書面にて開催。	48人
年3回	明推協だよりの発行	推進員を対象に、事業計画・事業報告及び各種イベントの案内・報告等を掲載。	
通年	選挙物品の貸出し	区内の中学校や高校の生徒会選挙等のため投票箱や記載台などの選挙器材の貸出し。	8校
	選挙啓発物品の作製	啓発キーホルダー及びマスクケース作製。	

▼せんきょフォーラムの様子



▲せんきょフォーラムの様子_02

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	(1) 区役所各課や区内の地区センター・地域ケアプラザ・コミュニティハウスにポケットティッシュの配布を依頼。 (2) 港南区役所周辺にて、通行人にポケットティッシュを配付し、投票を呼びかけ。	
広報紙及びTwitterによる選挙情報の掲載	広報よこはま・港南区版及び港南区役所のTwitterに、期日前投票と投票日に関する情報を掲載し、選挙情報を周知。	

▼啓発物品(マスクケース)



保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会では、将来の有権者となる若年層への啓発と、地域による選挙啓発活動の支援を中心に活動しました。

若者向けの活動の「ほどがやバンドバトル」では、壇上への飛沫防止フィルムの設置、入場時の検温、入場を事前申請制にする等、可能な限りの感染対策を行いながら実施しました。優勝バンドを投票で決定したほか、選挙について最も素晴らしいアピールをしたバンドに特別表彰を行うなど、選挙啓発を意識した企画を行いました。

また、地域への啓発活動の支援を目的として、絆創膏セットとポケットティッシュを作製し「明推協だより」を通じて、イベント等での活用の呼びかけを行いました。

▼ 街頭でティッシュを配布（街頭啓発「ザ・イコット」）



▲ 模擬選挙を体験中の小学生（選挙フォーラム）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年5月	定例会	・令和2年度事業報告・収支決算報告及び監査報告 ・令和3年度事業計画案及び予算案等	参加人数：16人
令和3年11月	ほどがやバンドバトル	青少年指導員協議会と共催し、高校生によるバンドバトルを開催。 参加した高校生バンドによる選挙啓発の選挙クイズなどによる選挙啓発を実施。	参加バンド数：16組 学生スタッフ：約100名（出演メンバーを含む。）
12月～令和4年2月	せんぎょフォーラム	小学校6年生を対象に、各学校が設定したテーマによる模擬選挙の実施。	実施校数：区内小学校2校 児童数：190人
令和4年1月	第1回企画運営部会（書面開催）	(1) 企画運営部会長の改選について (2) 地域啓発用の啓発物品の作製について	
令和4年3月	第2回企画運営部会（書面開催）	(1) 地域啓発用の啓発物品の作製について（報告） (2) 令和3年度明るい選挙推進協議会事業の活動について (3) 令和4年度明るい選挙推進協議会事業計画（案）について	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材貸出し	区内の学校に生徒会選挙等での使用を目的に、投票箱等の選挙器材の貸出しを実施。	貸出し校：5校 内 訳：中学校（4校）・特別支援学校（1校）
年3回	「明推協だより」の発行	推進委員、推進員向けの機関紙を発行。	6月・12月・3月

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	保土ヶ谷駅及び星川駅周辺で、啓発用ポケットティッシュの配布。	参加人数：10人

旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発活動を実施しています。

令和3年度においても、新型コロナウイルスの影響で例年のような活動を行うことが難しい状況だったため、コロナ禍でもできる活動を実施しました。特にせんきょフォーラム事業においては、一部の小学校で、オンラインを取り入れて実施しました。また、若年層向けの活動として、区内全高校の高校3年生に新有権者向けパンフレットと啓発物品を配布しました。

今後も推進委員、推進員の皆様と協力し、選挙に一人でも多くの方に関心を持っていただけるような啓発活動を行っていきます。

▼ オンラインを活用したせんきょフォーラム



▲ 街頭啓発「ザ・イコット」

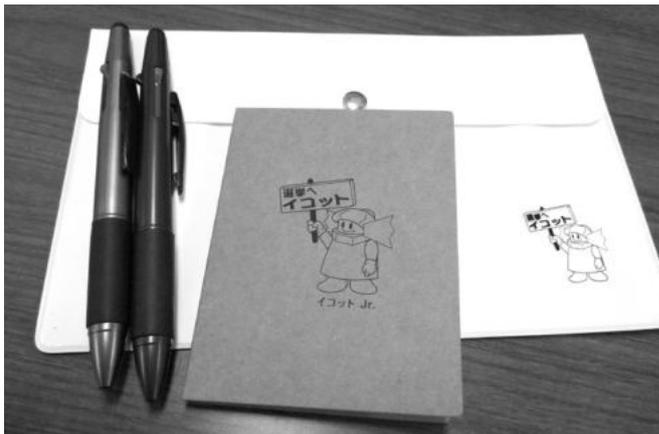
● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	主な議題 ①役員の選出 ②規約の一部改正 ③令和2年度事業報告及び決算報告 ④令和3年度事業計画(案)及び予算(案) ・書面開催にて実施 (書面表決日：令和3年6月11日)	参加人数 推進委員 13名
11月	高校生向け啓発	区内全7校の高校3年生に新有権者向けパンフレットとともに啓発図柄入りペンを配布。 ・配布時期：令和3年11月	区内全7校の高校3年生 約1,600名
12月～令和4年2月	旭せんきょフォーラム	区内の小学生を対象に、給食のメニューなどの身近な話題をテーマにした模擬選挙を行い、選挙に対する理解・関心を深めた。 ・令和3年12月8日 若葉台小学校 ・令和4年1月14日 市沢小学校 ・令和4年2月15日 今宿小学校	参加児童： 74名 85名 100名
通年	選挙機材・物品の貸出し	区内の高等学校・中学校の生徒会選挙時に投票箱・記載台等の選挙機材や腕章・たすき等の選挙運動用品の貸出し。	貸出し学校数 9校
	イコット通信の発行	推進委員・推進員への情報提供や推進員相互の連帯意識の向上を図るため機関紙「あさひイコット通信」を発行。	年3回

● 参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	参議院選挙に向けて、啓発物品の配布・投票の呼びかけを実施。 場 所：相鉄線二俣川駅 配布個数：2000個	参加人数： 推進員3名
Twitter・LINEでの選挙啓発	区のTwitter及びLINEにて、投票参加や分散投票をSNSにて呼びかけ。	令和4年6月23日～7月10日 Twitter：6回 LINE：4回

▼ 啓発物品（マスクケース & ペン & 付箋セット）



磯子区

令和3年度は、区民まつりへのブース出展や新たな事業として未来の有権者である小学生に投票体験を通じて選挙を身近に感じてもらうための映画会などの啓発活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止せざるを得ませんでした。そのような中でも、せんきょフォーラムでの「給食選挙」や中・高等学校へ選挙機材の貸出しなどを行い、明推委員・推進員向けの研修会を書面にて開催しました。

令和4年7月に執行された参議院議員通常選挙では、台風の影響で中止になった街頭啓発用のポケットティッシュを磯子区役所内で配布するとともに、区の公式Twitterを通して期日前投票の呼びかけを行いました。

引き続き、推進委員・推進員の皆様と選挙の関心が高まるような啓発活動を行っていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年6月	磯子区明るい選挙推進協議会定例会	令和2年度の事業・決算報告、及び令和3年度の事業計画・予算案について書面により審議。	
令和3年7月	磯子区明るい選挙推進研修会	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面により、令和3年8月に行われる市長選に向け「選挙制度の概要」について研修を実施。	
令和4年1月	せんきょフォーラム	区内の小中学校でせんきょフォーラム「給食選挙」を実施。 【実施校】 ・令和4年1月18日(火) 洋光台第三小学校	参加児童 47名
令和4年3月	選挙に行こう！こども映画会	小学生を対象に映画会の開催。映画会の前に選挙に関するクイズを実施。	新型コロナ ウイルス 感染症 拡大 防止 のため 中止
	選挙クイズ	映画会の代替としてタウンニュースに選挙に関するクイズの記事を掲載。正解者に啓発物品を送付。	
通年	生徒会支援事業	区内の中中学校・高等学校に選挙器材の貸出しを実施。 【貸出し校数】 中学校 8校 高等学校 1校 計 9校	
	明推協だより発行(年3回)	推進委員・推進員を対象に機関誌を発行。 事業紹介・報告、選挙啓発活動報告等。	

▼ 給食選挙の様子



▲ 選挙器材貸し出しの様子

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
掲示物による啓発	磯子区役所内に啓発ポスターを掲示。磯子区役所に啓発懸垂幕を設置。	
街頭啓発	啓発用のポケットティッシュを磯子区内の駅周辺で配布。	台風接近のため中止
啓発物品の配布	啓発用ポケットティッシュを磯子区役所内で配布。	
SNSによる啓発	磯子区の公式 Twitter アカウントで期日前投票を告知。	
広報よこはまへの記事掲載	広報よこはま6月号に選挙期日等のお知らせを掲載。	

▼ Twitter での啓発



金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに、啓発活動を企画・実施しています。

令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大のため、区民祭りや学園祭への出店などの啓発活動を実施することはできませんでした。

一方、将来の有権者である中学生に向けた主権者教育として、「せんきょフォーラム」を開催し、昨年度は横浜市立六浦中学校で講演会を行いました。

この他にも、区内各学校への選挙器材の貸出しなどを行い、若い世代の政治・選挙に対する意識向上を目指し活動しています。

▼ 中継で行われた講演（せんきょフォーラム）



▲ スライドを使用した講義（選挙出前授業）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 5月	定例会 (書面開催)	令和2年度事業報告及び決算報告、令和3年度事業計画案及び予算案について審議。	
令和4年 2月	選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版及び区役所HPに選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で啓発グッズを贈呈。	
	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催。 場所：横浜市立六浦中学校 演題：「そうだ、投票に行こう！ ～笑い溢れる、明るい未来～」 講師：桂 三四郎（落語家）	参加人数 3年生 150人
	金沢区明るい選挙推進委員・推進員研修会 (書面開催)	選挙についての知識を身につけていただくことを目的に、区で作成した研修資料を配布。	
通年	明推協にゆうすの発行	推進委員及び推進員向けに事業に関する情報提供や意識向上を目的に機関誌を発行。(年3回：6月、11月、3月)	
	選挙出前授業	区内小・中・高等学校を対象に選挙の重要性や関心を高めるため、出前授業を実施。 (年3回：7月、11月、3月)	実施校数 小学校：1校 高等学校：2校

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	選挙器材貸出し	生徒の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に選挙器材を貸し出し。	貸出し件数 中学校：9校 特別支援学校：1校
	横浜ベイサイドマリーナへの啓発物品設置	青年有権者層が集まる横浜ベイサイドマリーナにおいて、選挙参加を呼び掛けるため、啓発物品（選挙マスコット「いこあら」のマスケース）を設置。	

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発「ザ・イコット」の実施	明推協にゆうす6月号で啓発物品(ポケットティッシュ)の配布について協力依頼を行い、申出があった推進員の方々に配布。各種会合等の中での呼びかけを依頼。	約2,000 個のポケットティッシュを配布

港 北 区

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのイベントが中止または縮小されましたが、感染症対策に取り組みながら、啓発事業を実施しました。

特に力を入れた事業が将来の有権者向け啓発事業です。新吉田第二小学校（4月）と港北小学校（6月）で出前授業を行いました。授業の中で身近なテーマに基づいた模擬投票を実施しましたが、生徒の皆さんからは模擬投票を通して、「選挙の仕組み・大切さを学んだ」という感想を多くいただきました。

上記の活動等については「イコット通信」に掲載して、明るい選挙推進協議会の推進委員及び推進員に周知しました（6月、11月）。

今後も新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、推進委員、推進員の皆様と協力し、選挙への関心が高まるような啓発活動を実施していきます。



▲ せんきょフォーラム（港北小学校）



▲ 街頭啓発（妙蓮寺駅）



▲ せんきょフォーラム（新吉田第二小学校）

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 5月	定例会	令和2年度の事業報告、令和3年度の事業計画について審議。	推進委員 20名
令和3年 4月～ 令和4年 1月	せんきょフォーラム	区内の小学校・高等学校で模擬投票を通して投票することの大切さを学んでいただく出前授業を実施。（3校） ・新吉田第二小学校（令和3年4月22日） 選挙内容：運動会の応援団長選挙 ・港北小学校（令和3年6月3日） 選挙内容：給食のおかず選挙 ・清心女子高等学校（令和4年1月12日） 授業内容：選挙の基礎知識	参加人数： 計295人
通年	イコット通信	区明推協の推進委員及び推進員を対象として発行し、啓発事業の報告やスケジュール等の情報を共有。（6月、11月）	発行回数： 2回
	選挙器材の貸出し	将来の有権者への関心を高めるため、生徒会役員選挙などを対象に、区内中学校及び高等学校に選挙器材を貸出し。	件数： 10枚
	啓発物品の作製	推進員の常時啓発活動をサポートするためのファイルバッグやブロックメモを作製、また生徒会選挙やせんきょフォーラムに参加した児童・生徒に配布するための投票証明のしおりを作製。	

● 参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」の実施	【明るい選挙推進協議会推進員による啓発】 区内各駅周辺やトレッサ横浜等の商業施設にて、啓発物品（ポケットティッシュ）の配布やのぼり・プラカードを掲出し投票参加を呼びかけ。	参加人数： 77人 配布数： 11,000個
啓発物品の配布	【地区センター】 期日前投票所である日吉地区センター及び綱島地区センターで、啓発用ポケットティッシュを配布。 【郵便局】 港北郵便局及び綱島郵便局で啓発用ポケットティッシュを配布。 【区庁舎】 各課の窓口にて啓発用ポケットティッシュを配布。	配布数： 5,000個
各種広告掲載	【広報物】 広報よこはま港北区版へ広告を掲載し、区民に広く周知。 【区ホームページ】 区ホームページに啓発バナーを掲載。 【区庁舎】 区庁舎に横断幕・懸垂幕を掲出するとともに、区庁舎内モニターに啓発文を掲載。 【Twitter】 期日前投票の案内記事を港北区Twitterアカウントでツイート。	広報よこはま6月号(港北区版)

緑 区

緑区明るい選挙推進協議会は、区民に政治や選挙への関心を高めてもらうことを主な目的として活動しています。令和3年度は新型コロナウイルスによる影響を受けないよう、啓発物品の作製・配布をメインとした啓発活動に努めました。

具体的には、7月にマスクケース及び高校生向けリーフレットを作製し、緑区内の高校生に配布しました。

令和4年7月に執行された第26回参議院議員通常選挙の啓発事業については、推進委員、緑区内の公共施設、緑区役所の窓口業務を担当する課にポケットティッシュをお渡しし、推進委員が所属する各団体、施設、各課窓口で配布してもらうなどして、選挙への呼びかけを行いました。



▲ 三保小学校での出前授業の様子



▲ 参院選でのポケットティッシュ配架の様子



▲ 長津田小学校での模擬選挙の様子

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 6月22日	出前授業 (三保小学校)	6年生を対象に、選挙とはなにか、どのようにして代表者が決まるかななどをテーマに実施。	参加人数： 170人
6月25日	模擬選挙ガイド ンス、模擬選挙 (長津田小学校)	6年生を対象に、選挙のやり方や流れについて説明をした後、「修学旅行の夕方の空き時間の過ごし方」をテーマに模擬選挙を実施。	参加人数： 140人
7月	啓発物品の作製	若年層への啓発を目的とし、マスクケース及び高校生向けリーフレットを作製。マスクケースは緑区内の高校3年生に、高校生向けリーフレットは高校2、3年生に配布。	マスクケース： 1,500個 高校生向け リーフレット： 3,500枚
令和4年 2月25日	選挙啓発講座 (星槎学園北斗校)	高校生を対象に選挙啓発講座を行った後、「若者が政治に興味を持つにはどうしたらよいか」をテーマに高校生からの発表があった。新型コロナウイルス感染症拡大を鑑みオンラインで実施。	参加人数： 20人
通年	イコト通信の発行	明推協推進委員・推進員を対象とした機関紙を発行し、各事業の告知や報告を実施。	発行回数： 3回
通年	選挙器材の貸出し	区内の学校を対象に、投票箱や記載台等の選挙器材を貸出し。	貸出し校数： 6校

● 参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
ザ・イコト	推進委員の所属する各団体にポケットティッシュの活用を依頼。 緑区内の公共施設(図書館や地区センターなど)、緑区役所の窓口課にもポケットティッシュを配布し、各施設での配架を依頼。	参加人数： 推進委員 14人 施設： 7軒 緑区役所内： 4課

青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目指し、「若年層啓発」を中心とした活動を行っています。

令和3年度は、小学6年生を対象とした「せんきょフォーラム」、中学生を対象とした「青葉区明るい選挙推進作文コンクール」のほか、区内の高校文化祭でポスターの掲示を行いました。

さらに、令和4年7月の参議院選挙時における啓発活動として、東急青葉台駅前で街頭啓発を実施しました。推進員やイコットプロジェクトメンバーの大学生が参加し、活動の様子は新聞にも掲載されました。

今後も推進委員・推進員の皆様と協力し、投票参加につながる啓発活動を実施していく予定です。



▲ せんきょフォーラム出前授業



▲ せんきょフォーラム模擬投票



▲ 青葉区明るい選挙推進作文コンクール表彰式

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年5月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	令和2年度事業実績・決算報告及び令和3年度事業計画・予算審議等を実施。 開催方法：感染症対策のため書面開催	参加人数：14名 (推進委員)
令和3年5月	青葉区明るい選挙推進協議会推進委員・推進員研修会	青葉区明推協推進委員及び推進員の改選に伴い、明推協設立の背景や内容等、今後の活動を行う上での心得を学ぶ機会を設置。 開催方法：感染症対策のため書面開催	参加人数：120名 (推進委員・推進員)
令和3年5月～令和4年1月	せんきょフォーラム	将来の有権者である小学6年生を対象に、選挙への関心や知識を高めることを目的として、出前授業と模擬投票を4校で実施。 授業はクラスごとに選挙管理委員会職員が講師となっており、先生が主体となって模擬投票を実施。また、投票に参加したという実感を持ってもらうために、選挙啓発マスコットをデザインしたオリジナルの投票証明書を参加者全員に配付。	(1) 青葉台小学校 121名 (4クラス) (2) 市ケ尾小学校 123名 (4クラス) (3) もえぎ野小学校 117名 (3クラス) (4) みたけ台小学校 108名 (3クラス)
令和3年6月	企画運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員・推進員希望者で構成されたチームが主体となり、①明推協の活動方針確認、②横浜市長選挙時の啓発活動、③せんきょフォーラムの実施、④作文コンクールの実施、⑤高校文化祭の参加、⑥区民まつりの企画内容について、意見交換を実施。 開催日：令和3年6月22日(火) 場所：青葉区役所4階会議室	参加人数：9名 (推進委員・推進員・事務局)
令和3年7月～9月	青葉区明るい選挙推進作文コンクール2021	選挙や政治・社会について関心を持ってもらうとともに、選挙に対する区民の意識を高めることを目的として、区内の中学校に通学する中学生を対象とした作文コンクールを実施。 計90作品より8作品が入賞。	参加人数：90名 (区内中学校2校に通う中学生)

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年10月	高校文化祭への参加	青葉区明るい選挙推進協議会の活動内容をポスターとして掲示し啓発物品の配布を実施。 開催日：令和3年10月23日(木) 開催場所：県立市ケ尾高校	
年3回 (令和3年6月・令和3年11月・令和4年3月)	イコット通信の発行	選挙啓発活動の周知のため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行。推進委員及び推進員への送付や、青葉区明るい選挙推進協議会のホームページへの掲載を実施。	
通年	投票器材貸出し	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙等で、区内の中学校・高校に投票箱や記載台等の貸出しを実施。	貸出し実績：14件 (中学校：11件、高等学校：2件、特別支援学校：1件)
通年	啓発物品の購入	常時啓発の物品として、チラシ入りマスク、ボールペンの作製を行い、推進員の自治会活動や高校文化祭等のイベントで配布。	9,000枚を作製し、区役所内(統計選挙係窓口・乳幼児健診会場)に配架。

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
街頭啓発「ザ・イコット」	駅構内でブラカドを掲げ、啓発物品(ポケットティッシュ)を配布しながら、投票日・期日前投票等の周知、投票参加の呼びかけを実施。 開催日：令和4年6月25日 場所：東急青葉台駅	参加人数：12人 (推進委員・推進員・イコットプロジェクトメンバー・事務局)

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指し、地域に密着した啓発活動や若年層啓発に力を入れて活動しています。

具体的には、15 地区協議会における夏祭りや運動会での啓発など、各地区独自アイデアによる選挙啓発に取り組んでいます。

また、せんぎょフォーラムや未来の有権者育成事業など、若年層の投票率向上を目指して活動をしています。

令和3年度は、コロナ禍でもできる活動として、地域へ活動をPRするための自治会・町内会向け広報誌の創刊や、動画配信の形での委員・推進員研修を実施しました。

今後も委員・推進員の皆様の協力のもと、より良い成果を挙げられるように活動を続けてまいります。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 4月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	区役所にて、前年度実施事業の振り返り及び決算報告、令和3年度事業計画の協議を実施。	
6月	都筑区明るい選挙推進大会	明るい選挙推進運動の目的、令和3年度事業計画、大会決議文を、推進委員及び推進員へ書面にて送付。	
8月	明推協PR事業	センター南駅前すきっぷ広場にて開催される「星空のコンサート」に協賛し、来場者への明推協事業PRを実施。	
12月	委員・推進員研修会	委員・推進員向けの研修動画を配信サイトに掲載。	
令和4年 3月	「めいすい通信(創刊号)」の発行	明推協の活動を地域の方へPRするため、各自治会、町内会向けに回覧する広報誌を発行。	
通年	「明推協だより」の発行	推進委員・推進員を対象として、明推協事業の紹介や活動報告等を記載した機関紙を発行。	年3回 (6月、12月、3月)発行
	せんぎょフォーラム	都筑区内の小学6年生を対象として、選挙に関する講義や身近なテーマに絡めた模擬投票を実施。	参加校数: 計5校 参加人数: 計512名
	地区協議会企画事業	地区協議会ごとに啓発・研修事業を実施。メモ帳等の啓発物品を各地区に配布し常時啓発を実施。	

▼ せんぎょフォーラムの様子



▲ 臨時期日前投票所での横断幕掲出の様子

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	未来の有権者育成事業	都筑区内の小、中及び高等学校の生徒会役員選挙等に投票器材を貸出し。	貸出し実績: 計6校 (中学校5校、 高校1校)

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発物品の配布	来庁者への選挙啓発を目的に、期日前投票期間中、区役所内各窓口にて、啓発用ポケットティッシュを配布。	
啓発用フォトパネルの設置	区役所1階の期日前投票所横に、オリジナル啓発用フォトパネルを設置し、来庁者への啓発を実施。	
啓発横断幕の設置	臨時期日前投票所が設置されている、センター北駅前のJA横浜都筑中川支店外部欄に、選挙啓発横断幕を設置。	

**明るい選挙と
投票率の向上を目指して**

～横浜市都筑区明るい選挙推進協議会～

こちらからご覧いただけます

横浜市選挙管理委員会事務局

▲ 研修動画の抜粋 (QR 付)

戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指し、3部会に分かれて活動しています。

令和3年度は「戸塚ふれあい区民まつり」が中止になり、「イコット映画会」についても、直前まで準備をしていましたが、中止となりました。一方、「研修会（対面）」や例年映画会と同時開催している「せんきょ川柳コンテスト」については2年ぶりに実施しました。

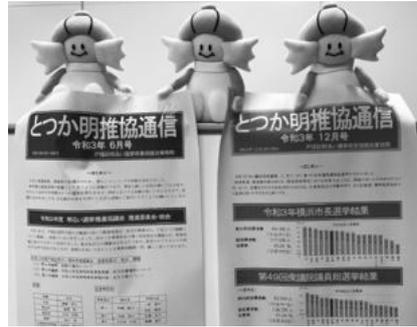
第26回参議院選挙では、啓発ポケットティッシュの配布や各種媒体による啓発活動を行いました。

そのほか、区内の学校へ生徒会選挙等のための投票器材の貸出しや、出前講座を行うなど若年層への啓発にも取り組んでいます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年4月	戸塚区明るい選挙推進協議会総会	全推進委員・推進員を対象とした総会。役員の選任、令和2年度の事業実績と収支決算報告および令和3年度の事業計画と収支予算について審議、決定。	
令和3年6月 令和4年3月	明推協推進員等研修会	6月には、「明るい選挙推進協議会」「期日前投票所の投票立会人」に関する書面研修を実施。3月には、選挙管理委員会事務局の遠藤係長を講師に、集合研修を実施。	集合研修 参加人数： 32人
令和4年2月	せんきょ川柳コンテスト	市民の方から選挙に関する川柳を募集。応募作品の中から3作品を表彰。	応募総数： 35点
通年	『未来の有権者』育成事業	区内中学校・高校を対象に、生徒会選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうために、投票箱や記載台等の器材を貸出し。	区内中学校 9校 区内高校 2校
通年	せんきょフォーラム	小学校や高校に向いて行、選挙に関する出前講座を実施。 令和3年4月30日：舞岡小学校 令和4年1月27日：平戸台小学校	舞岡小学校： 6年生 48人 平戸台小学校： 6年生 35人
通年	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を年2回（6月・12月）発行。	

▼ とつか明推協通信



▲ 参院選啓発ポケットティッシュ



▲ 推進員向け研修会

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発ポケットティッシュ配布	区庁舎のほか、地区センター等の区民利用施設や西武東戸塚店等の商業施設にて啓発ポケットティッシュを配布。	約15,000個 配布
広報よこはま戸塚区版6月号による啓発	期日前投票と不在者投票についての広報を実施。	
Twitterによる啓発	戸塚区公式 Twitter でのツイートを実施。（内容：投票日の告知、エフエム戸塚の告知、期日前投票の告知）	
エフエム戸塚による啓発	戸塚区選挙管理委員会書記がラジオ番組に出演し、投票を呼びかけ。	
区ホームページの作成	参議院選挙にかかる内容の特設ホームページ（区版）を公開。投票所変更等を周知。	
区庁舎での啓発	区庁舎に横断幕の掲出や、庁舎内のモニター画面で投票日と期日前投票の日時・場所の案内を掲出。	

栄区

栄区明るい選挙推進協議会では、「明るい選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から対面での活動が難しい状況の中、選挙啓発動画を利用した啓発を実施しました。投票の方法、投票制度の説明や、若年層向けの選挙啓発動画を制作し、SNSへの投稿や、栄区HPへ掲載する等、多くの方にご視聴いただけるよう積極的に取り組みました。

また、感染症対策を徹底し、小学校に出向いて開催した「せんきょフォーラム」では、選挙の概要・重要性について講座で説明してから、選挙をより身近に感じてもらうための模擬投票を行っていただきました。



▲ 栄区せんきょフォーラム



▲ 栄区エコロジーたわし



▲ 栄区メモ帳

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 5月 6月 6月 12月 12月	せんきょフォーラム	区内小学校を対象に選挙出前講座を実施。 横浜市立庄戸小学校 横浜市立本郷台小学校 横浜市立豊田小学校 横浜市立小菅ヶ谷小学校 横浜市立桂台小学校	参加人数： 約60人 約90人 約90人 約90人 約50人
令和4年 1月～3月	啓発動画の制作	投票所での投票の方法、期日前投票・不在者投票の制度等の説明や、若年層向けの選挙啓発動画を制作し、YouTube、栄区Twitterへの投稿や、栄区HPへの掲載。	
1月～3月	啓発物品作製・配布	選挙啓発エコロジーたわし、選挙啓発メモ帳の作製を行い、栄区役所窓口にて配布。	
通年	選挙器材貸出し	区内の学校で実施される生徒会選挙に際し、選挙器材を貸出し。	貸出し実績：6件
通年	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行。	頻度：3回

●参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発用ポケットティッシュの配架及び啓発用ポスターの掲示	区役所各課窓口・イトーヨーカドー桂台店にて、啓発用ポケットティッシュの配架及び啓発用ポスターを掲示。	設置期間： 6月30日～7月9日
地域の移動販売にて啓発用ポケットティッシュの配布	地区支援チームの活動の一環として行われた地域の移動販売にて、啓発用ポケットティッシュを配布。	実施日： 6月28日 7月1日

泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、若年層を中心に幅広い世代に向けて、選挙に対する関心を高めてもらえるような啓発活動に取り組んでいます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「泉区民ふれあいまつり」等のイベントが中止となりましたが、「せんきょフォーラム」をはじめとした選挙啓発リーフレットの配布や模擬投票の実施、選挙器材の貸出しを通し、将来の投票率向上に繋げる啓発活動を実施しました。

また参院選時は、区内2駅にて、泉区独自に作成した期日前投票PRチラシ入りの啓発ポケットティッシュ配布による街頭啓発を行ったほか、啓発ポスター及びポケットティッシュを区内地区センターや大学等に配布し、積極的な投票参加を呼びかけました。



▲ 街頭啓発「ザ・イコット」



▲ 出前授業「せんきょフォーラム」講義の様子



▲ 出前授業「せんきょフォーラム」模擬投票の様子

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 5月	泉区明るい選挙推進研修	「明るい選挙と投票率の向上」をテーマに、講師：遠藤 伸哉（横浜市選挙管理委員会事務局 選挙課啓発係長）による講義を実施。 場所：泉区役所	参加人数：45人
7月	啓発リーフレット「せんきょフォーラム」の発行	将来の有権者である区内市立小学校の6年生を対象に、選挙について学習する機会を提供する選挙啓発リーフレットを配布。	実施校：16校
7月	定例委員会	役員選任、令和2年度事業報告、令和2年度決算報告、令和2年度会計監査報告、令和3年度事業計画案・予算案の審議・決定。 場所：泉区役所	
12月	「あと3年」クイズの発行	市選管発行の社会科副教材「あと3年」を基にクイズを作成し、区内中学校及び戸塚区汲沢中学校の3年生に配布。	実施校：8校
令和4年 1月	出前授業「せんきょフォーラム」の実施	小学校6年生を対象に選挙に関する講義と模擬選挙による体験学習を併せた出前授業を実施。	実施校：1校
2月	高校生向け啓発リーフレットの発行	高校生向け啓発リーフレット「高校生のためのせんきょブック」を作製し、区内高校の2年生を対象に配布。	実施校：4校

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員向けに事業の計画やボランティアの募集、活動報告等を掲載した機関紙を年3回発行。	発行月：7・11・3月
通年	選挙器材の貸出し	区内の小・中学校で行われる生徒会選挙等に際し、選挙器材を貸出し。	貸出し校数：6校

● 参議院選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
区役所内における啓発	泉区役所内窓口に期日前投票所をPRする卓上のぼり、イコット Jr. むいぐるみ及び啓発用ポケットティッシュを設置。	設置期間：令和4年6月23日～7月9日
街頭啓発「ザ・イコット」	立場駅及び緑園都市駅の計2か所で実施。啓発用ポケットティッシュを配布し、投票参加の呼びかけを実施。 また、啓発ポケットティッシュを区内商店街に配布し、地区センター、大学には啓発ポスターも併せて配布。	実施日：6月30日 参加人数：22人
啓発のぼりの掲出	啓発用のぼり旗等を臨時期日前投票所周辺に配置し、PRを実施。	

瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

令和3年度は、推進員の改選期にあたり、7月に「瀬谷区明るい選挙推進大会」を開催し、決議文採択や若年層啓発に関する講演を実施しました。また1月には、小学校6年生を対象に「せんきょフォーラム」を実施し、講義と併せて模擬投票を体験してもらい、選挙の大切さを学んでいただきました。

令和4年7月の参議院議員通常選挙では、推進員等の方々に約1万5千個の啓発ティッシュを地域へ配布していただき、投票参加を呼びかけました。

また、臨時期日前投票所の移転に伴い、横断幕やチラシを作製し、周知を行いました。



▲ ザ・イコット（啓発ティッシュのポスティング）



▲ 啓発物品（オリジナルクリアファイル）



▲ 参院選啓発 瀬谷駅横断幕

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和3年 6月	瀬谷区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績、決算報告及び当該年度の事業計画案、予算の審議。	推進委員 28名
7月	瀬谷区明るい選挙推進大会	瀬谷区民の「きれいな選挙」と「投票総参加」の推進を目的として明るい選挙推進大会を開催し、活動方針の決議文採択、ハンドブック説明、明推協活動紹介、講演を実施。	参加人数： 約100名
6月(第1回) 9月(第2回) 1月(第3回)	地区代表者会議	期日前投票所の立会人推薦依頼及び実施経過報告等。	地区代表者 12名 ※第3回は書面にて開催
6月(第1回) 12月(第2回) 3月(第3回)	せやイコット通信発行	推進員へのお知らせ、啓発等を目的に情報紙の発行。	推進員 約180名
令和4年 1月	せんきょフォーラム	感染症対策を講じた上、小学6年生を対象に出前授業と模擬投票を実施。「卒業を祝う会で歌う合唱曲選挙」と題し、投票から開票までの流れを体感しながら、選挙の大切さについて楽しく学習。	場所： 南瀬谷小学校 参加人数： 約120名
通年事業	区内各学校への選挙器材等の貸出し	将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を深めるため、区内の学校へ生徒会選挙用、授業教材として実際の選挙に使用する投票器材や選挙運動用具の貸出し。	延べ10校 に貸出し
	啓発物品の作製	オリジナルクリアファイルを作製し、推進員へ配布。今後のイベント等の啓発時に使用予定。	推進員 約180名

●参議院議員通常選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
「ザ・イコット」啓発ティッシュの配布等で実施	12地区の推進員や地域の方々による、啓発ティッシュの各世帯へのポスティングや地域の集まりでの配布、地域ケアプラザへの配架等。	約1万5千個の啓発ティッシュを使用 参加人数： 約180名
区役所内における啓発	区役所内の電光掲示板での選挙執行のお知らせを掲出。また、窓口に啓発ティッシュをイコット Jr. むいぐるみと共に設置。	
SNS (Twitter・LINE) による啓発	選挙執行の周知のため、期日前投票や当日投票の案内の記事を区のTwitter及びLINEに掲載。	
臨時期日前投票所の移転に伴う周知活動	横断幕の作製・掲出。	掲出場所： 相鉄線瀬谷駅南北自由通路、瀬谷センター
	周知用チラシの作製・掲出。	区内の自治会・町内会掲示板 約690か所に掲出
	タウンニュース(瀬谷区版)への掲載。	約2万3千部を折込配布・施設配架

横浜市 令和3年度の事業

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

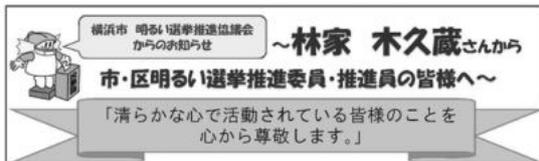
事業名	内容	備考
研修等事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市・区明るい選挙推進協議会会長会議は書面開催とし、市・区明るい選挙推進大会については開催を見合わせました。推進大会の代替として、落語家の林家木久蔵氏へのインタビュー記事等の資料を送付し、市区明推協の推進委員・推進員の意識高揚を図りました。	
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、各区で貸し出している生徒会選挙支援物品の整備を行うとともに、市選管との共催事業である「せんきょフォーラム」を支援しました。 また、横浜市若者選挙啓発団体イコットプロジェクトへの支援を行いました。	1 生徒会役員選挙等への支援 2 イコットプロジェクト啓発支援 3 市選管との連携による啓発事業
(公財) 明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(公財) 明るい選挙推進協会が主催する総会、全国研修会や各種フォーラムに参加し、他都市の先進事例等の情報を共有するとともに、連携を深めました。	1 (公財) 明るい選挙推進協会連携事業各種フォーラム 2 市・区明推協連携事業
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	地域で明るい選挙推進運動に携わる際に必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、全推進員に配布しました。	発行数 3,300冊
白バラよこはま (No.51) 発行	市及び区が令和2年度及び令和3年市長選時に実施した各種啓発事業紹介や推進員の心得等を掲載した機関誌を作成し、各区の推進員ほか、関係者に配布しました。	発行数 3,200部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
若年層啓発事業	若者の間で普及しているSNSを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行いました。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しました。	随時発信
選挙啓発冊子「はたちの投票Book」	新成人にとって必要な選挙の知識、選挙のルールを掲載した冊子「はたちの投票Book」を作成し、市内の新成人の有権者全員に郵送しました。	郵送対象者：約35,500人 郵送日：12月6日(月)
「成人の日」を祝うつどい	「成人の日」を祝うつどい会場内外での映像放映や場内放送、当日配布冊子で、新成人に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	日程：令和4年1月10日(月・祝) 会場：横浜アリーナ 対象：36,373人
将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配布し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行いました。	配送：令和3年9月 対象：市内中学3年生 約31,000人
幅広い世代向け啓発事業	選挙時に有権者の半数以上が投票に行っていないこと、とりわけ若年層の投票率が低いことを周知し、令和4年参議院選挙及び令和5年執行予定の統一地方選挙に向け、投票参加を促すポスターを掲出しました。	掲出場所： ・ブルーライン(駅貼りポスター)： 令和4年1月5日～3月29日 ・グリーンライン(ドア横ポスター)： 令和4年1月4日～3月28日
選挙制度等の広報	市ホームページや郵便投票周知用リーフレットを活用して、選挙制度の周知を進める等、積極的な広報を実施しました。	実施：通年
せんきょフォーラム	将来の有権者向けに、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前授業を実施しました。	実施：通年 会場：各区学校等
啓発チラシの製作	若年層の投票率向上のため、住民票異動に関する周知チラシ及びイコットプロジェクトのメンバー募集チラシを製作し、市内協力大学の新生を対象に周知しました。	市内協力大学：11大学
啓発ポスター掲出	きれいな選挙と投票参加の呼びかけを図るため、みなとみらい線馬車道駅、みなとみらい駅、横浜駅改札付近及び桜木町野毛ちかみちに選挙啓発ポスター等を掲出しました。	
明推協関連	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市・区明るい選挙推進大会の集合形式での開催は見送りましたが、代替措置として、記念講演予定だった林家木久蔵氏へのインタビューを行い、その内容を推進委員・推進員へ共有しました。また、推進委員・推進員へは、各区より白バラよこはま、イコット通信の配布を行いました。	
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、イコットプロジェクトの啓発事業に対しても、引き続き支援しました。	

令和3年度 横浜市・区明るい選挙推進大会 代替措置について

令和3年度の推進大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、予定していた記念講演の講師である落語家の林家木久蔵氏へインタビューを行い、インタビュー記事を配布しました。



横浜市 明るい選挙推進協議会
からのお知らせ

～林家 木久蔵さんから
市・区明るい選挙推進委員・推進員の皆様へ～

「清らかな心で活動されている皆様のことを
心から尊敬します。」

令和4年2月17日(木)に開催を予定していた、令和3年度横浜市・区明るい選挙推進大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりましたが、予定していた記念講演の内容を推進委員・推進員の皆様へお伝えるために、林家木久蔵さんにインタビューを行いました！

○予定していた記念講演
「笑顔でつなぐ 木久蔵流・地域コミュニケーション」(講演&落語)

○今回の講演テーマ「地域コミュニケーション」について

人間って生まれてから死ぬまで、一人では生きていけないですね。生きていくためには、人とのコミュニケーションが必要になると思います。落語も、お客様の反応に合わせてコミュニケーションをとって、話す内容も、高座の上からお客様の様子を見ながら、その場で決めているんです。コミュニケーションの取り方には色々ありますが、例えば私の講演会では、まずお客様に「笑ってください」と言っています。笑顔になるところは、相手のハートを掴んだことになると思うし、それもコミュニケーションだと思うんです。また、笑うことは、とても体に良いこととも言われています。例えば、笑うことで、人の体内にあるNK(ナチュラルキラー)細胞が活性化され、病気に対する免疫力・抵抗力が付くそうなんです。だから、今の時代にこそ笑いが必要なのだと思うし、私の話から笑いの効果を感じてもらいたいと思っています。

実は、落語家の世界のルールは、コミュニケーションスキルを高めるためのポイントと繋がっているんです。落語家を目指して弟子として入門すると、最初の5年間は365日休まずに、入門した師匠の身の回りのお世話をさせてもらうのですが、それは「氣遣い・氣働き」ができるようになるための修行なんです。そうすることで、まずは師匠のハートを掴み、ゆくゆくはお客様のハートをしっかりと掴めるようになるんです。

○推進委員・推進員の皆様へ

まず、推進委員・推進員の活動は無償のボランティアでやられているとのことで、これは本当にすごいことだと思います。清らかな心で活動されている皆様のことを心から尊敬します。

今回の講演テーマは「地域コミュニケーション」ということですが、落語には昔の日本社会の良き特徴でもある「地域の繋がりの強さ」が表現されているんです。今日は講演の後で落語を一堂披露する予定だったので、ぜひとも皆様には聞いていただきたかったです。また、今はこのコロナ禍で気分が沈みがちな世の中なので、ぜひ私の講演と落語を聞いてもらって、気分転換していただきたかったです。この状況が明けたら、ぜひ落語会に遊びに来てほしいなと思います。



【林家 木久蔵氏 プロフィール】

初代 林家木久蔵(現在の林家木久順)に入門。2007年真打に昇進、二代目・林家木久蔵を襲名。古典落語を中心に演じ、講演会では「木久蔵流、コミュニケーション術」「木久蔵流・笑うが一番」などの演題で行っている。著書『がんばらない子育て』(木久順との共著)などを出版。



振り返った時に、「人生、楽しかったな」と思えることが大事だと思うんです。そしてその「楽しかった」のパーツの一つに、落語がなればと思っています。だからこそ、多くの方に笑ってもらえるように、今後も落語に磨きをかけていきたいです。

【発行】横浜市明るい選挙推進協議会
【事務局】横浜市選挙管理委員会事務局
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
TEL: 045-671-3337 FAX: 045-681-6479



▲(資料1) 林家木久蔵氏へのインタビュー記事

横浜市若者選挙啓発団体 「イコットプロジェクト」について

「イコットプロジェクト」は、若年層の投票率向上に向けた各種企画の検討及び実施等に自主的に取り組んでいる若者啓発団体です。令和4年8月時点で10名の大学生が活動しており、横浜市選挙管理委員会及び横浜市明るい選挙推進協議会が支援しています。令和4年7月執行の参院選においては、SNSを活用した啓発や街頭啓発等に取り組みました。街頭啓発にご協力いただいた区の皆さま、ありがとうございました。



▲(資料2) メンバー募集チラシ



▲(資料3) 参院選での街頭啓発の様子



第19回投票参加状況調査結果（抜粋）

市内有権者 6,500人に政治や選挙に関する意識調査を実施

横浜市選挙管理委員会では、令和3年8月22日に執行された横浜市長選挙における「投票参加状況」や「政治意識」について調査を実施しました。その結果の一部をご紹介します。なお、調査結果については、本市選挙管理委員会ホームページに掲載しています。

- 1 調査方法及び抽出方法：郵送方式、選挙人名簿による無作為抽出
- 2 回収結果：2,452（有効回収率37.7%）
- 3 調査時期：令和3年10月27日～11月18日

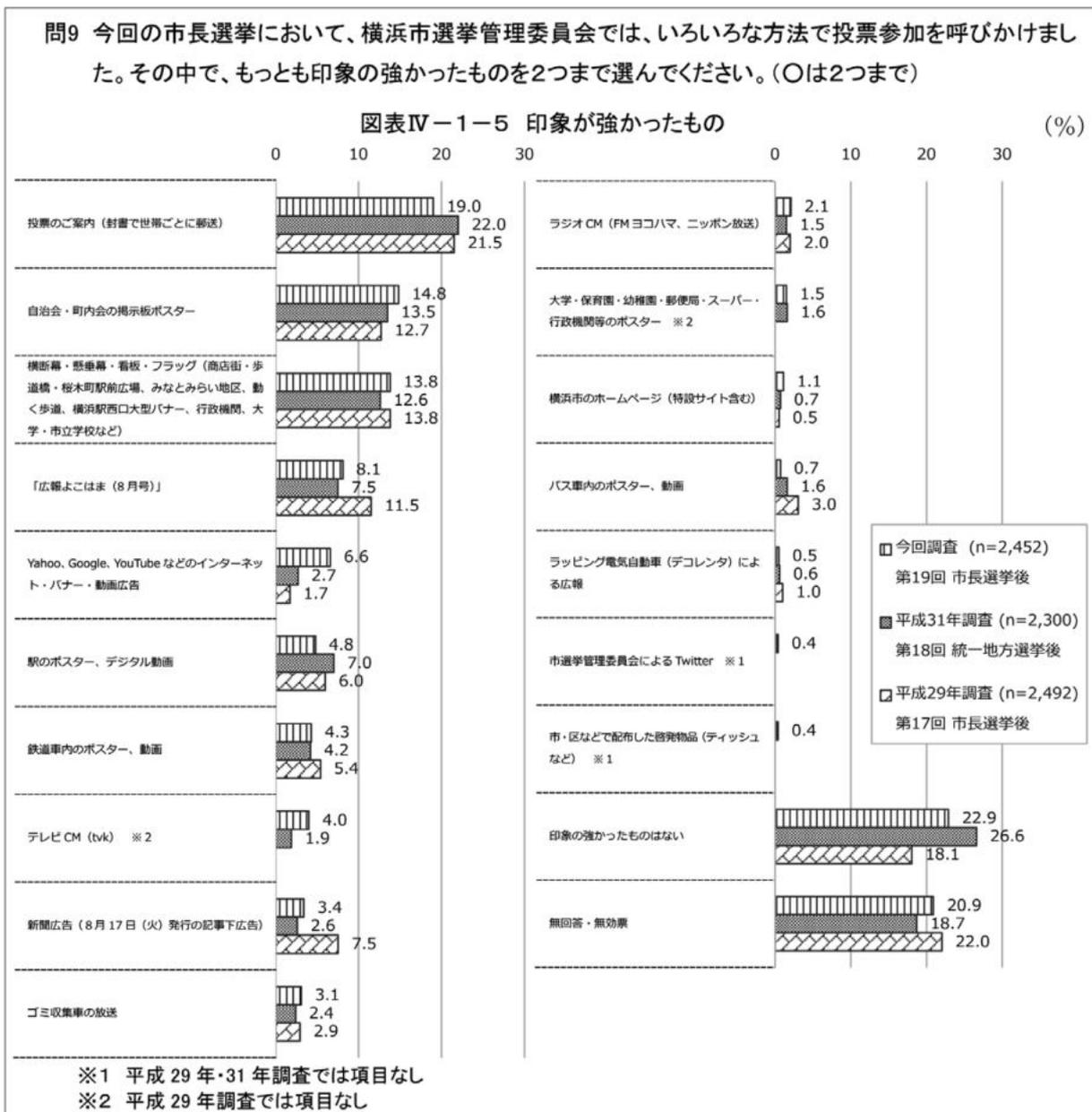
調査結果の主なポイント

●選挙を知った方法のうち、印象が強かったもの

「投票のご案内」が19.0%で最多（※「印象が強かったものはない」を除く）

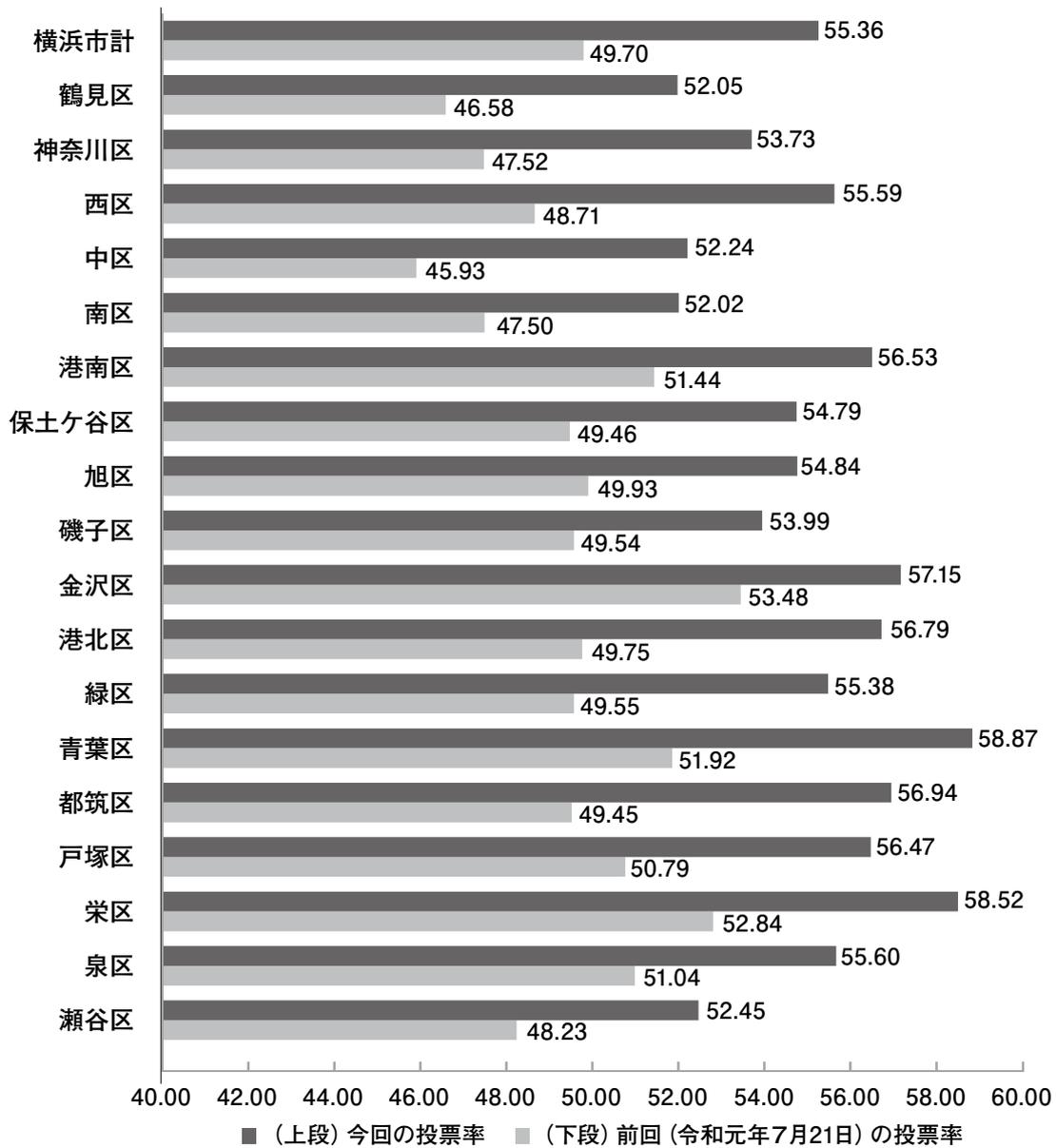
次いで、「自治会・町内会の掲示板ポスター」（14.8%）、「横断幕・懸垂幕・看板・フラッグ」（13.8%）、「『広報よこはま』（8月号）」（8.1%）などの順となっています。

平成31年調査（第18回 統一地方選挙後）と比較すると、上位5項目のうち、「投票のご案内（封書で世帯ごとに郵送）」のみ減少しています。



第26回参議院神奈川県選出議員選挙

<行政区別投票率(%)>



政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

政治家が選挙区内の人に、
 お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
 違反すると、処罰されます。
 また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。



寄附禁止のルールを守って、
 明るい選挙を実現しましょう。

<p>お歳暮やお年賀</p>	<p>入学祝・卒業祝</p>	<p>病気見舞い</p>	<p>秘書等が代理で出席する 場合の結婚祝</p>
<p>秘書等が代理で出席する 場合の葬式の香典</p>	<p>葬式の花輪・供花</p>	<p>落成式・開店祝の花輪</p>	<p>町内会の集会や旅行などの 催物への寸志や飲食物の差入</p>
<p>お祭りへの寄附や差入</p>	<p>地域の運動会やスポーツ大会 への飲食物の差入</p>	<p>贈らない! 求めない! 受け取らない!</p>	

みんなで徹底しよう「三ない運動」

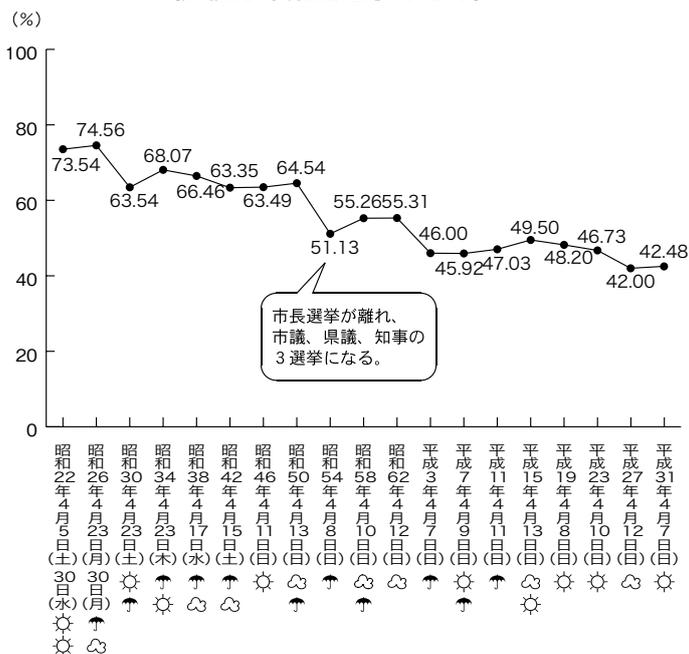


各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

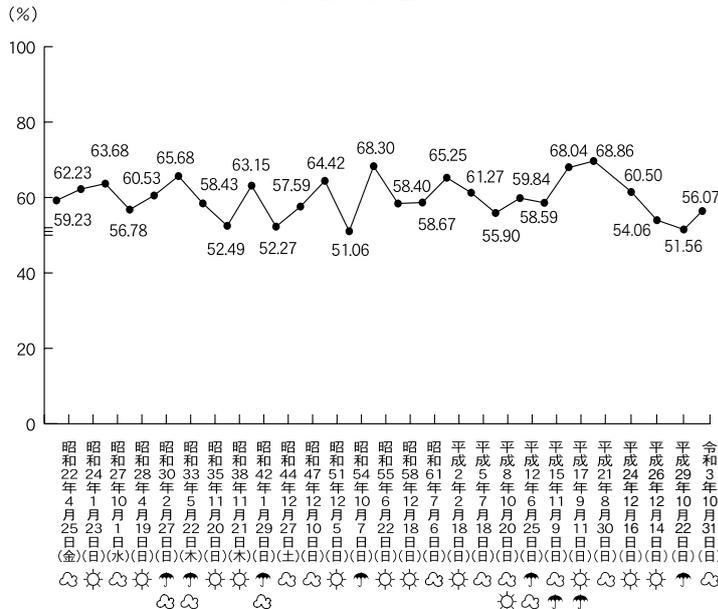
統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



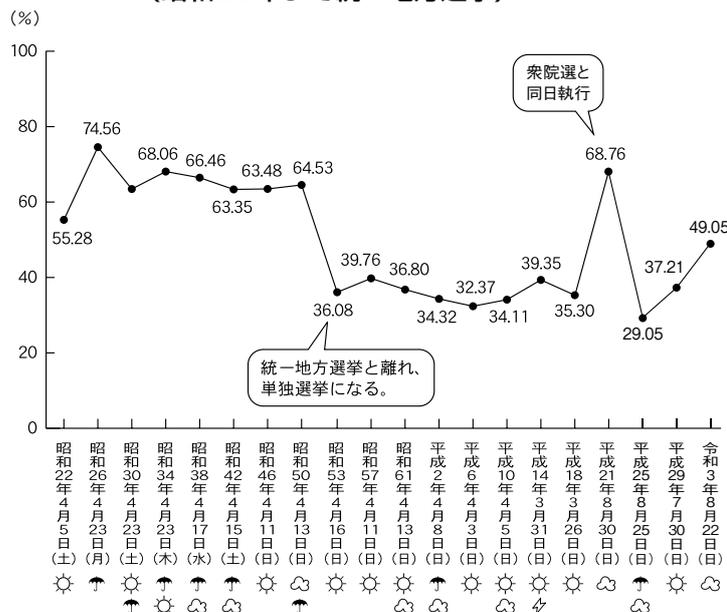
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



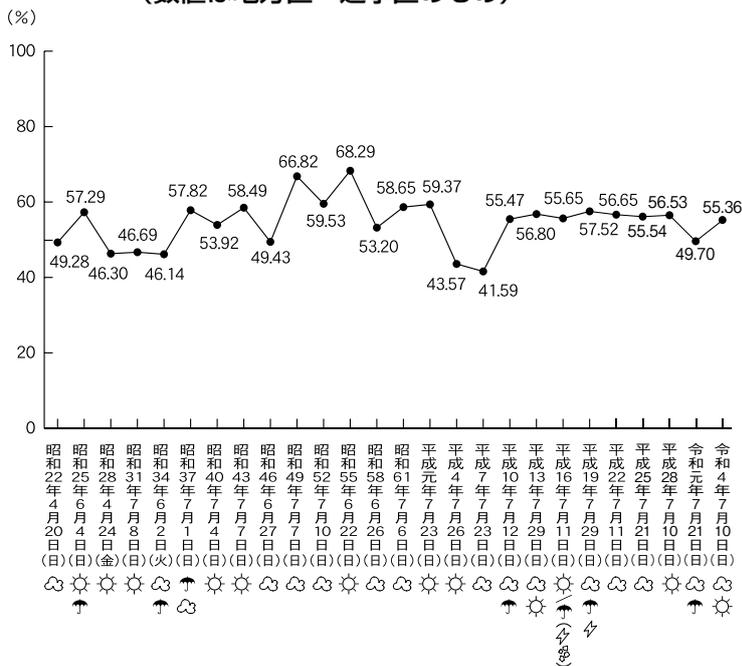
市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



注) 第一回統一地方選挙

昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

◀【旭区】せんきょフォーラム投票の様子



▶【港南区】デジタルサイネージでの案内(区役所1階)



▶【金沢区】いこあらハンドタオル(啓発物品)



▶【磯子区】エコバッグ・ボールペン(啓発物品)



▶【港北区】啓発物品



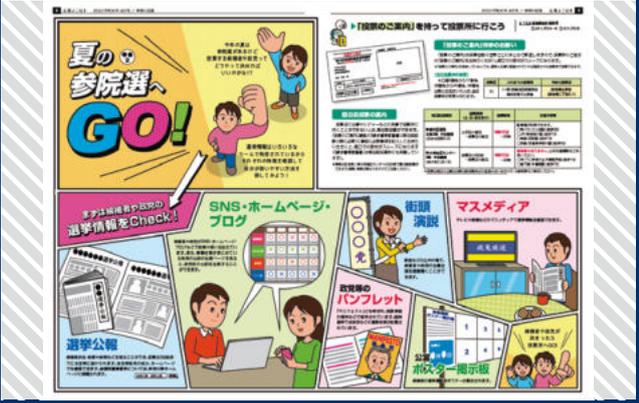
▶【鶴見区】街頭啓発(LICOPA鶴見店)



▶【中区】投票「エイコット」トイレットペーパー



▶【神奈川区】広報よこほま6月号特集記事



▶【緑区】啓発物品のマスクケースとフリーフレット



▶【戸塚区】せんきょフォーラム

